

(様式第4号)

上田市上下水道審議会 会議概要

1 審議会名	平成27年度(第5期)第1回上田市上下水道審議会
2 日時	平成28年2月10日 午後2時30分から午後4時15分まで
3 会場	市役所本庁舎 6階 大会議室
4 出席者	金井委員、吉川委員、沓掛委員、久保山委員、清水委員、高橋委員、田中(実)委員、田中(利喜夫)委員、長井委員、長尾委員、鳴沢委員、縷沢委員、廣川委員、宮岸委員、山本委員、米津委員、若林委員
5 市側出席者	母袋上田市長、峰村上下水道局長、宮澤経営管理課長、小山サービス課長、内川上水道課長、松井下水道課長、柏木浄水管理センター所長、竹花丸子・武石上下水道課長、矢嶋真田上下水道課長、関施設整備係長 (以下経営管理課)久保田課長補佐兼庶務係長、白鳥課長補佐兼経理担当係長、町田経理担当係長、庶務係清水
6 公開・非公開	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 一部公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開
7 傍聴者	0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	平成28年2月16日

協議事項等

1 開会

2 委嘱状交付

- ・ 上田市長から委嘱状を交付

3 市長挨拶

- ・ 上下水道事業は、「ライフライン」として一日たりとも欠くことのできない重要な事業である。
- ・ 新年度の4月にスタートする「第二次上田市総合計画」の中で上下水道事業においては「安全・安心な快適環境のまちづくり」に寄与するため、「安定した経営による上水道・下水道事業の継続」を目指し、課題として施設の長寿命化や中長期的な財政収支に基づく計画的な施設整備・更新に取り組むこととしている。
- ・ 平成28年度は平成25年度からの上下水道料金算定期間の最終年度に当たり、平成29年度以降の料金を審議いただく重要な年度となる。
- ・ 計画的な経営を図るため、経営基盤の強化と財政マネジメントの向上に資する「経営戦略」についても審議いただき、現在の厳しい社会情勢の中で持続可能な経営を実現していくために皆様のご協力をいただきたい。

4 審議会委員自己紹介

5 上下水道局出席者自己紹介

6 正副会長選出

- ・ 事務局から、会長・副会長の選任方法について提起
- ・ 委員から審議会委員の経験のある方をお願いすることが運営上望ましいとの声があがり、前回会長である久保山修委員、前回副会長である田中利喜夫委員がそれぞれ推薦され、了承される。

7 正副会長あいさつ

8 議事

(1) 上下水道局審議会について

- 事務局より資料1、資料2に基づき上田市上下水道審議会条例及び今期(平成28年度)の審議会開催予定について説明

・委員からの意見・質問なし

(2) 上水道事業の概要について

○事務局より資料3及びパンフレット「上田の水 みんなの水」に基づき説明

・委員からの意見・質問なし

(3) 下水道事業の概要について

○事務局より資料4及び「ホタルマップ」に基づき説明

・委員からの意見・質疑応答は以下のとおり

(会 長) 公共下水道の接続人口が91.7%ですが、戸数で言うと何世帯くらいが接続されていないのか。

(事務局) 公共下水道と農業集落排水併せて6,300戸ほど接続されていない。

(会 長) 結構まだ接続されていない。

(事務局) 経済的な事情等様々な理由により接続できない方がいる。

(会 長) 空き家になっているところは入っているのか。

(事務局) 住民基本台帳の人口、世帯数を使用している。

(会 長) 接続率は他町村と比べて高いのか低いのか。

(事務局) 申し訳ありません。データがなくお答えできません。

(会 長) 経営上の問題から、折角できたところに接続してもらうことで収入が増えていくということなので、どういう進め方で接続率を高くしているかを次回で結構なのでお答えいただきたい。

(事務局) わかりました。

(4) 上下水道局の組織と平成26年度決算の概要について

○事務局より資料5、資料6に基づき説明

・委員からの意見・質疑応答は以下のとおり

(委 員) 企業債の償還も始まっていると思うが、この交付税措置分は一般会計繰入金に含まれているということか。

(事務局) 国の財政措置のルールは、基本的には元利償還金等を一般会計から企業会計へ繰り出した額に応じて交付税措置されるフレームになっている。上田市においても国のルールに準じてその部分について、さらにそれ以外の部分についても一般会計から繰り出すルールとなっている。

(会 長) これは経営が厳しくなっているということなのか。

(事務局) 下水道の場合、使用料収入の比率が非常に低く、その一方で一般会計から入ってくるお金が多い。一般会計においても合併特例措置の交付税措置分がそろそろなくなり、一般会計側にとっても非常に厳しい財政状況である。全国的にも下水道に対する繰り出しの部分については、一般会計に対して非常に荷重になってきている。このため国は、下水道等の経営の見直しや料金の見直しを進めるように要請している。

(5) 第二次上田市総合計画について

○事務局より資料7に基づき説明

・委員からの意見・質問なし

・全体を通しての意見・質疑応答は以下のとおり

(副会長) 各事業会計でいろいろ基準が変わっているが、料金改定の審議の中で勉強させてもらい反映させていきたいので、今後詳細な説明をしていただき理解していきたい。

また、危機管理について地震等災害に対して現実的な対応はどのようになっているのか。

その中で課題はどうかをワンペーパーにでもまとめて次回にでも説明いただきたい。

我々も課題は課題として一緒に考えていきたい。

(事務局) 会計基準については全国的に変わり、最近国のほうで会計基準を見直したことによる影響の分析が出てきたところです。上田市も全国の傾向と同じであると考えている。また、27年度の決算ができると26年度との比較等ができるため、そういうものを含め説明等をさせていただきたい。

さらに、危機管理について次回の審議会の中で現況等を説明させていただきたい。

9 その他

(事務局) 上水道も下水道も生活の中に溶け込んだ施設であり、皆様からの使用料で賄って経営をしている。

27年度の決算が夏ごろ出てくる予定であり、それを踏まえた形で料金改定等の諮問をしていきたいと考えている。今年一年間については7回程度審議会を開催していく予定である。二年間にわたり大変お世話になります。よろしくお願いいたします。

10 閉会

以上